



—特集—
**佐世保と
ファッション**

**「ファッション」は
時代でどう変わる？**

佐世保のファッション 今と昔
ミニスカート、アイビー、古着
文化を彩る衣装

昔の服が
「今着たい」服に

**表紙撮影
メイキング**

昔の服が
「今着たい服」に

表紙で着用している服は、山本夏江さん(1~2p)が1970年代後半に購入した「KenScott」のシャツ&ワンピース。成人式で着るために、両親へお願いして買ってもらった思い出のあるもの。

協会加盟のタクシーは、健康被害の防止並びに快適性の向上を図ることを目的とし、平成二十年七月一日から車内の全面禁煙化を実施することになりました。何卒皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「KenScott」について
ケン・スコットは、1960~1970年代にかけて活躍したアメリカ人ファッションデザイナー。2021年には、彼が手掛けたデザインが GUCCIの「エビロークコレクション」として復刻を遂げた。

Backstage shots

photograph: tajuramozoph (3p) model: さや

毎月、市内文化施設のイベントカレンダーを佐世保市ホームページ、Facebookページ「文化のチカラ」に掲載しています。

特集1 「ファッション」は時代でどう変わる？ 1960s~1970s

海と山と、アイビーと。佐世保ならではのカジュアルスタイル。それまでのクラシカルで伝統的なしきたりから、若者の反骨精神とともに開放的な文化が開花した1960~1970年代。そんな時代ともに佐世保で青春を駆け抜けた人たちのファッションとは。



1960s~1970年代の佐世保では、どんなファッションが流行りましたか？

はつきりと覚えてるのは1964年頃、10歳の頃からかな。その頃までは既製服がなくて、服はお母さんが作ってくれたし、こんな服作ってほしいってお母さんにオーダーしてた。65年頃からは既製服がはじまって、66年頃にはミニスカートが流行ったね。70年頃までは、お母さんもおばあちゃんもみんなミニスカートを履いてた。今みたいに多様性はなくて、みんな同じ格好をしないとおかしかった時代だから。

その頃から、四ヶ町の方には既製服を売るお店が増えて、だんだんと三ヶ町にも高級品店とか出てきたかな。その頃、男子高校生はほとんどアイビーで、学校に革靴も履いていってたと思う。当時は、石津謙介さん(※)のアイビーが主流で、アメリカ人はみんなあれを着てると思って、一生懸命にかもしれないね。

そういうのと並行して、アイビーは根強い人気があったの。親の受けも良いし、ちゃんとしたところに行くときはそういう格好の方がいいわけよ。

佐世保ならではのファッションはありましたか？

70年代からは、アメリカの放出品を売ってる店が駅の方に何軒もあって、小物とかは安いから高校生の頃は買ってたかな。あと、JUNKOというお店では、自分の思った通りに刺繍してくれるの。刺繍は佐世保ならではかもしれないね。米軍の家族が着てる服も参考にしていたし、佐世保はアメリカ人の影響もあって知らず知らずのうちにいろんなものを取り入れてたんじゃないかな。

今と昔でファッションの楽しみ方は変わりましたか？

昔はさ、歩いて楽しんでたのよ。佐世保は小さいから、一回全部の店に入ってから考えて買っていく感じだった。うちにある服との組み合わせとかも考えてから買うっていう。今は、昔のお店はほとんど無くなって、みんなネットにいつちゃってね。都会はお店があるけど田舎はないからさ、ツールがないほどますます進むじゃん。もうネットにしがみついたらいいよね(笑)。私も最初は怖かったけど、やってみると楽しくなっちゃって、もう今は布団の中でも買えると思うたら楽しくって(笑) ネットショッピングがこれだけ発達して良かったなって思う。

と山と太陽に近い佐世保に似合うファッションはまだ違うんだよね。何か色合いだったり、街からすぐ海や山に移動しても違和感ない絶妙なカジュアルさだったり。アメリカの存在もあるし、都市と西海岸の折衷感が佐世保らしさのかもしれないね。

Check!

@warehouse__17
夏江さんがリメイクした洋服や帽子など

@mamahafashionista
最新のファストファッションからリメイク品まで着こなす夏江さんの日々のコーディネート



60-70sのまちなか男子とニシムタさん

「THE IVY LOOK」



アイビーカット
全体的に短めで整髪料で髪を立ち上げ、爽やかな親御もよかったです

ポタンタウンシャツ
高校の制服の下に洗ざらしのポタンタウンシャツって子も結構いたらしい

紺ブレ
「紺のブレザー」の略。刺繍のワッペン(エンブレム)がポイント

ローファー
当時、革靴のまま教室に入るスタイルの高校もあったとか

高校時代は70年代はじめて、まちなかで洋品店、帽子店を営んでいた家業の影響もあって、ファッションは身近なものでした。といっても情報源は現在と比べても少なく、雑誌のメンズクラブをみんな読んでましたね。友達同士で服を着せあったりしてね。街をあるく米兵は怖かったけど、コートなんかおもしろいなあ、と思って眺めてました。僕らの2-3個上の世代は、ヒッピーブームだったこともあって、少し僕らは小奇麗に見えてたんじゃないかなあ。大人たちが優しくファッションを受け止めてくれていたように思います。男子は大体、アメリカスタイルのアイビー、大きく2つに分かれていたよね。



「帽子と紳士洋品のニシムタ」
0956-22-6256 下京町4-23
営業時間 10:00~18:00

服を買ったの。でもお金が無かったから、似たような洋服を見繕って買うっていう感じだったね。

69、70年頃からホットパンツも流行ってみんな履いてた。学校でブルマは履いてたし、ショートパンツへ移行しやすかったんじゃないかなと思う。そのあたりでananが出てきたの。ファッションに特化した雑誌で、カメラマンもよく、キャッチコピーもおもしろく、一世を風靡したね。

71、72年頃はananが紹介したサボが流行ったかな。サボは4、5年おきくらいに出てくるの。あと、オーパオールは7年、ヒョウ柄も2、3年おきに流行る時期がくるのよ(笑)その頃からジーンズも普通に買えるようになったね。



(※) 石津謙介氏・・・(1911~2005) 岡山県生まれのファッションデザイナー。昭和26年、メンズ・アパレル「VAN」を創業。1960年代に石津氏が日本に紹介したアイビー・ルックは爆発的なブームとなった。

ストーリーを与えることで

愛着が湧き、長く着られる一着に。



佐世保市在住の植田颯太さん、永田峻さん、竹本拓史さんからなる編集グループ。長崎県立大学在学中に「YIPPEE magazine」第1号を自主製作し、現在第2号が好評発売中。
※お取り扱いの店舗はInstagramからご確認ください。
第2号では、古着屋からの衣装提供によりテーマに合った写真を撮影する特集も掲載されており、3人とも普段から古着を愛用している。



tajuramozoph
タジュラモゾフ

ファッションを好きになっただけは？

植田颯太(以下「颯」)

僕は中学生の頃に地元の古着屋さんに通うようになって、入り口が古着だったのでそこからずーっと古着が好きですね。

竹本拓史(以下「拓」)

俺は大学生やね。それまで私服着ることなかったし。

永田峻(以下「峻」)

僕はお兄ちゃんの影響もあります。お兄ちゃんも古着好きで、大学の入学式前に3万円のジャケットを買わされて「笑」こんなブランドあるんだ！ってそこから集めたりしました。

颯：きょうだいの影響は確かにあるかも。僕の場合はお姉ちゃんでしたけど、そういうファッションの感じを見て真似したり、容姿が良かったり。あと、ポパイとかの雑誌も買ってた。ファッションや文章をかなり読み込んでました。

どうやって着る服を選んでいきますか？
ファッションのこだわりは？

颯：直感で選ぶことが多いですね。僕は小柄で、着られる服も限られてくるので、来た時にビタッって合うのがあったらお金が無かったとしても「買わんば〜」ってなります(笑)

自分が今着てる服は、70年代のLeeっていうアメリカのブランドの服で、60年代までプリント技術があまり進歩してなくてバッチワークで実際に作ったものばかりだったんですけど、70年代に入ってプリントの技術が出てきてその時に作られた。そういう文化が反映されている服だったっていう。買った後にその服のことを調べていくと、年代や時代背景と繋がっていることが

特集② 「ファッション」は時代でどう変わる？ 2020s~

最近、テレビのニュースでも取り上げられる若者の「古着ブーム」。「古い」という概念が「新しい」？
古着をこよなく愛す佐世保の若者たちのファッションとは。

2020s~

ファッションを好きになっただけは？

私の祖母が裁縫の先生で、お洋服とかを小さい頃からよく作ってもらっていたこともあり、でもちゃんと好きになったのは高校生のときですね。私服の高校に通っていて、毎日コーディネート考える中で、古着が好きになりファッションもより好きになりました。

どうやって着る服を選んでいきますか？
ファッションのこだわりは？

颯：買って決めて服を買に行ったことは一度もなく、かわいって思ったものやすぐに頭の中でコーディネートが浮かぶものは買います。あと、レディースのレースの服とかワンピースにいかついメンズのアイテムを合わせるとか、服装の中でキャップをつけることが多いです。

影響を受けているものはありますか？

洋服も含め、インテリアなどはPinterest (アプリ)を参考にすることが多いです。目的のものを追求するにはすごく楽で、おしゃれた写真も多いので。

同年代の人はどんなファッションをして
いることが多いですか？

お店に来くくたさる若い人は、人と絶対にかぶらないからという理由で古着を買いに来ている人がほとんどです。若い人に古着が人気なのは、それが一つの大きな理由かもしれないですね。あと、佐世保では派手な服は着られないけど福岡では着られるっていうのは若い人からよく聞きます。ファッションは自己表現の一種のツールでもあるので、着たいときに好きな服を着られるような街になっただけいいなと思います。

わかってより好きになる。それが古着の良いところだと思います。

拓：俺は好きな俳優とか映画監督が着てる服が欲しいかな。自分が今着てる服はウディ・アレンが映画で着てる、いいなって思って買いました。ウディ・アレンは若い頃からずっと同じ服を着ててもうポロシャツポロなんですよ。(笑)だから自分もポロポロにしたいって毎日着てるっていうストーリーもあります。

峻：僕はあまり知識がないので、服に詳しい古着屋のオーナーさんが「これ売れなかつたら俺が買うわ」っていうやつを買ってます(笑)

今佐世保にお住まいということですが、
ファッションに関係することで佐世保に求める
ものはありますか？

颯：通販では買わなくても、直接お店に行ったらピリピットくるものがあったりするんで、お店は多ければ多いほど嬉しいですね。あと、大阪にはノベルティやスタンプジャンパーとかだけを取り扱ってるような、そういう店主の変なこだわり全開のお店があるので、佐世保で見つけられないだけかもしれないですけど、そういう変なお店があったら行きたいです。



撮影、文章、デザインなどが仕事のご依頼お待ちしております！

tajuramozoph
Mail tajuramozoph@gmail.com
TEL 080-1744-8225
Instagram ▶ @tajuramozoph



佐世保でお店をオープンしようと思った
きっかけは？

元々は古着のバイヤーになりたくて、経営学部に入って英語も勉強していたんです。でも、佐世保には古着屋が少ない。一方で、地元の京都は学生が多く、洋服も学生価格で単価が安いし古着屋も多い。私は、そんな街で生まれ育ったから古着やファッションを好きになるきっかけがたくさんあったし、ファッションを通じていろいろを経験をさせてもらったんですね。

私自身ファッションですごく変わったし、今も仕事にしている。そういう経験を佐世保の若い人にもさせてあげたかったというのが、佐世保でお店を開こうと思った理由です。

あと、佐世保には遊ぶ場所や洋服屋さんがないから、若い人が福岡や東京に出て行っちゃってっていうのを聞いたときに、なかつたら作ればいい、作る人がいないから出ちゃんだ、作つたらとまってる人、外から来てくれる人がいるかもしれない。これは使命だ、と思いました。

だから、自分のお店の洋服は、福岡に行つて帰ってくる交通費で一着買えるような価格帯にしているんです。福岡じゃなくてこっちおいでって(笑)



長崎県立大学在学中に「古着屋ドキドキ」をオープン。店には唯一無二のデザインの古着が多く並び、毎日新商品が入荷されている。

古着屋ドキドキ 代表
杉原鈴那さん

ファッションは自己表現のツール。

古着で佐世保を盛り上げたい！



古着屋ドキドキ
場所 佐世保市万津町2-8
BRICK MALL SASEBO 2F
営業時間 15:00 ~ 20:00
店休日 月、金
Instagram ▶ @dokidokiyade



文化を彩る衣装

木場浮立

Kobafuryu



「クラシックチュチュ」と呼ばれる女性用衣装。チュールを何枚も重ねた、腰から横に広がるスカートが特徴。



教えてくれたのは

木場浮立保存会

会長 白川 正實さん

木場浮立資料館兼伝習研修所
佐世保市黒髪町2442-1

TEL 090-8831-0097 ※見学は要事前連絡

歴史ある伝統を
次世代へ繋ぎたいです！



衣装ができるまで
(フルオーダー)

【生地決め】

主体となる生地を、無地の物や刺繍入り、ペロアなど様々な素材の中から作品の時代背景や雰囲気に合う物を選ぶ。生地によって染め加工をすることもある。

【採寸・調整】

細かな部分まで採寸し、ベースになる型が出来た際実際に着用し、体に合わせて細かい調整を何度も行う。

【装飾】

品のある色合いを使用し、あまり派手になりすぎない飾りやモチーフを選択する。デザイナーからいくつか候補を提示してもらい、打ち合わせのうえ決定していく。華やかな雰囲気にするために、衣装に合う頭飾りや首飾りを作る場合もある。

バレエスタジオプリエ
佐世保市大宮町22-19 2F
TEL 0956-34-0181

HP Instagram



舞の構成

- ①三番叟(さんぼうそう)
- ②玄蕃(げんば)
- ③三方見せ(さんぼうみせ)
- ④追い廻し(おいまわし)
- ⑤ようたろう
- ⑥岡崎
- ⑦江戸浮立
- ⑧獅子舞

玄蕃(げんば)

三間三尺(約6m36cm)の紐つきの月の輪を頭につけて舞う。月の輪を大きく左右に振ったり横転したりして太鼓を打つ。少しのまちがいで一生の災難を一時うけるという難しい舞。細い竹に紙の紐が結ばれており、長さはあるが折れにくい。



獅子舞(ししまい)

体長約2mの獅子には大人ふたりが入り、大きな口を開けたり、首を左右にふったりして身体を大きく動かしながら進む。獅子は木竹と棕櫚(しゅろ)の皮でできており、ユーモラスで愛嬌のある姿は木場浮立独特のもの。顔や歯にはアルミホイルが使われている。



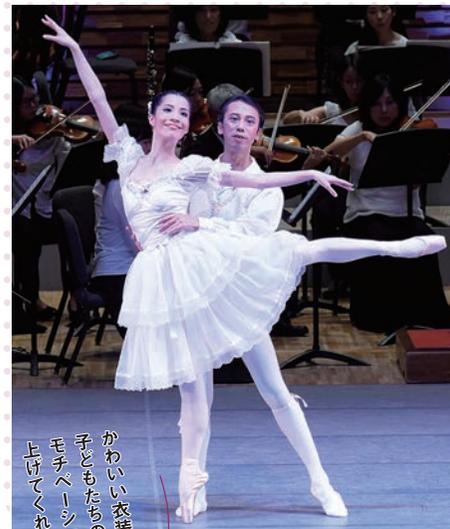
頭に被る部分には、龍の絵が描かれている。

時代背景はもちろん、演じられる役柄の職業や地位、人柄などを表すのに重要な役割をもっている衣装。「見たい!」「着てみたい!」をきっかけに、まだ知らない新たな世界へ——。

Ballet

バレエ

バレエは、オーケストラ、衣装、舞台芸術、照明などの総合芸術の一式全てのことを指す。バレエで上演される作品には神話や童話を題材にしたものが多く、衣装のデザインは、演目や演出によって決まる。



かわいい衣装は子どもたちのモチベーションを上げてくれます!

男性用の衣装。丈が短いジャケットとサッシュベルトにより、ウエスト位置を高く、脚を長く見せることができる。



いちかぐら



長刀(ながなた)

教えてくれたのは

バレエスタジオプリエ

代表 高木 裕次さん



Gatokagura



獅子舞



折敷(おしき)

大盛り上がりの獅子舞をぜひ観に来てください!

舞と衣装

教えてくれたのは

宇久神楽保存会

会長 月川 徹さん

TEL 0959-58-2407

宇久町観光協会
YouTube
「UKUJIMA」



五島神楽

(宇久島神社)

五島列島各地に伝承された神楽の総称。宇久島神社の神楽は、神主と社方(しゃかた)と呼ばれる人々が鳴り物と舞を務め、現在は春の折念祭(6月下旬頃)で奉納されている。平成28年に国指定重要無形民俗文化財となった。



獅子頭(ししがしら)は、明治時代ごろから何度も修理を繰り返しながら使用されている。獅子に頭を噛まれると、厄除けや学力向上などのご利益があると言われていたため、演舞中に獅子が子どもの頭を噛んでまわるフレンドリーな触れ合いがある。「覆い」(獅子が身体にまとっている布)には、獅子の巻き毛を表した模様が描かれている。

